

清酒 福無量

大吟醸・純米吟醸・純米・本醸造

杏掛酒造 株式会社 0268  
上田市大字下塩尻35 (22)1903

東信ジャーナル

(株)東信ジャーナル社  
発行所 〒386-0005 長野県上田市古里2256-7

発行人 井出正義 火~土曜日発行  
TEL 0268-23-6632 (3連休にならない発行)  
FAX 0268-26-1403 購読料/1ヶ月 980円

ご購読申し込みは

東信ジャーナル社

TEL 0268(23)6632

● 催物

話題 人

フレッシュさん

投書など

何でも

E-mail tjourn

上田市真田町長の真田公民館で20日、講演会や地域団体の活動発表を行う初の「真田の郷 みんなのつどい」が開かれる。「つどい」に併せて23日まで、昭和47年に廃線になった真田傍陽線の写真展示会を近くのカフェ&ギャラリーSa an (さあん)で開催中で、ふるさと真田の魅力を再認識し住民同士の連携を強化するきっかけにしたいと実行委員会は張り切っている。

## 20日、初の「真田の郷 みんなのつどい」

### 講演会や地域団体活動発表



川久保鉄橋を渡る真田傍陽線のさよなら電車（昭和47年2月）

同市真田町長の社会福祉法人恵仁福祉協会  
事業の一環。

同法人と市や社協、医師、地域の

民生児童委員らが運営

委員会（委員長・平野

隆之日本福祉大教授）

を組織し、昨年10月か

ら3年間で行う。委員

がそれぞれの専門性を

生かし連携し合って、

矢嶋嶺氏の「むら・ま

## カフェ&ギャラリーSa an 真田傍陽線の写真展も

カレー&ギャラリーSa an 真田傍陽線の写真展も  
月刊フリーペーパー「パー」の発行  
全戸配布する  
真田地域に

より良い地域福祉の実践へ

## より良い地域福祉の実践へ

が日本生命財團の助成  
を受けて実施している  
ハイブリッド・ケアの  
展開と新たな地域づくり  
事業の一環。

同事業は

同法人と市

や社協、医

師、地域の

民生児童委

員らが運営

委員会（委員長・平野

隆之日本福

祉大教授）

を組織し、昨年10月か

ら3年間で行う。委員

がそれぞれの専門性を

生かし連携し合って、

矢嶋嶺氏の「むら・ま

だ。

「つどい」

は午後4時か

だ

問い合わせ TEL 72-2

781 (実行委員会事

務局のアザレアンさ

い。

車窓の風景を撮影した

動画の上映も計画して

いる。

梅子が生まれ

ら明治期、「文春」（平成

流行の「子

「梅子」とし

て書いている

かなで書けば

かなかで書け

ば

うのだ。一茶

朝声は子の

んめの花。

へ神ありてん

など、「んめ

れている▼今

大が百十年を

## 生ごみ減量へ

### 段ボール箱と腐葉土、米ぬか

生ごみの減量化など研究する東御市の生ごみを埋めていくぞ」と、2回目の学習会を東部クリーンセンターで固定した段ボール箱を利用した堆肥化の方法を学ぶ基材づくりに取り組んだ【写真】。



みを埋めていくぞ」と、簡単な生ごみ処理方法。ふたを立て布テープで固定した段ボール箱の底にすき間がないように新聞紙を敷き、腐葉土と米ぬかを入れて混ぜ合わせる。この箱を雨のあたらしい風通しと日当たりのいい場所（箱の下にはすのこ）所（箱の下にはすのこ）に置く。

わせた末を土に埋め、土に埋めていくぞ」と、簡単に生ごみ処理方法。ふたを立て布テープで固定した段ボール箱の底にすき間がないように新聞紙を敷き、腐葉土と米ぬかを入れて混ぜ合わせる。この箱を雨のあたらしい風通しと日当たりのいい場所（箱の下にはすのこ）所（箱の下にはすのこ）に置く。

## 水まわりひとすじ この道40年

上下水道指定工事店  
水彩工房上田中央店

株 川上商会  
上田市大手2-8-15(二中前)  
TEL(0268)22-0858